

(別紙1-1)

審査項目①、②の基準

審査項目	評価の着眼点			評価基準点	
	判定基準			小計	
業務経歴	同種又は類似業務の実績		過去の実績（3件）を次の順位で評価する。 ①同種業務の実績がある。 ②類似業務の実績がある。	10	10
業務実施体制	責任者	同種又は類似業務の実績の有無及び携わった立場	過去の実績を次の順位で評価する。 ①同種業務の実績がある。 ②類似業務の実績がある。 上記に加え、携わった立場を次の順位で評価する。 ア 責任者又はこれに準ずる立場 イ 主たる担当者 ウ 補助的な立場	5	20
		手持ち業務の件数	手持ち業務が0件の場合は5点とし、1件増加するごとに1点減少し、5件以上の場合は、評価の対象としない。	5	
	担当者	同種又は類似業務の実績の有無	過去の実績（1人につき1件）を次の順位で評価する。 ①同種業務の実績がある。 ②類似業務の実績がある。 なお、全ての担当者において業務実績が無い場合は評価対象としない。	5	
		手持ち業務の件数	手持ち業務が0件の場合は5点とし、1件増加するごとに1点減少し、5件以上の場合は、評価の対象としない。	5	
	合計				30

同種業務及び類似業務とは、次のものを指す。

- ①同種業務：テレワークに関する講習から業務幹旋までを一体的に実施したもの
- ②類似業務：テレワークに関する講習、業務幹旋のいずれかのみ実施したもの

(別紙1-2)

審査項目①、②評価点数

審査項目	着眼点		実績・内容	点数	実績・内容	点数	備考
業務経歴	類似業務の実績 同種又は		①3件	10			
			①2件、②1件	6			
			①2件、②0件	5			
			①1件、②2件	2			
			①1件、②1件	1			
業務実施体制	責任者	同種・類似業務の実績	①とア	5	②とア	2	※業務実績がない場合は0点とする。
			①とイ	4	②とイ	1	
			①とウ	3	②とウ	0.5	
		手持ち業務の件数	0件	5			※5件以上の場合は、0点とする。
			1件	4			
			2件	3			
			3件	2			
			4件	1			
	担当者	同種・類似業務の実績	担当者が2人とも①	5	担当者が1人で①のみ	2	※評価対象人員を2人とし、その業務実績で採点する。 ※全ての担当者に業務実績がない場合は、0点とする。
			担当者の1人が①、もう1人が②	4	担当者が1人で②のみ	1	
			担当者が2人とも②	3			
		手持ち業務の件数	0件	5			※2人の点数の平均点とする。 ※5件以上の場合は、0点とする。
			1件	4			
			2件	3			
			3件	2			
			4件	1			

(別紙1-3)

審査項目④の評価基準と評価点数

【審査項目】

見積金額

【評価の判断】

税込みの見積金額を比例配分方式により評価（小数点以下第2位を四捨五入）

最低見積金額：X 提案者見積金額：Y

【配点】

20点

【計算】

Yの評価点数＝ $(X \div Y) \times 20$ 点

（採点は小数点第1位四捨五入）

(別紙2)

審査項目③の評価基準及び評価点数

審査項目：企画提案書

項目	評価事項	評価基準点					評価点
		極めて優秀	優秀	普通	やや劣	劣	
テレワークについての 考え	テレワークの現在の状況及び今後の展望の分析が評価 できているか。	10	8	6	4	2	
	本部町の特性を踏まえた事業提案になっているか。	10	8	6	4	2	
企画力	仕様書に基づき、その目的、内容を的確に反映した企 画提案内容になっているか。	10	8	6	4	2	
提案の具体性・現実性	提案内容は、具体的で現実性を有するものであるか。	10	8	6	4	2	
提案の独創性	提案内容は、独創的であるか。2次的な広がりは見込 めるか。	10	8	6	4	2	
小計		50点満点					

(別紙3)

テレワーカー人材育成事業業務委託プロポーザル選定審査表（総括）

番号	企画提案者	順位	総合得点 最高100点 A + B + C	客観的評価項目		審査項目③						
				①業務経歴 ②業務実施体制 最高30点：A	④見積額 最高20点：B	最高50点 C = 平均 (C1～C5)	採点者 1 C1	採点者 2 C2	採点者 3 C3	採点者 4 C4	採点者 5 C5	備考
1												
2												
3												
4												
5												

※企画提案の採点の平均点は、小数点第3位を四捨五入する。